

ぶつかる闘志・沸き上がる歓声

第15回 町民体育祭 (10.2 横中グラウンド)



◇逆転に大フィーバー

まるで九回ツーアウトからの逆転劇のような第11ブロックの優勝。最終集計が出るまで、固唾をのんで得点板をにらんでいた地区民。終始後塵を拝してきた第4ブロックを初めて上回る得点が掲示されるや、テントの中は割れんばかりの大騒ぎ。バンザイの連呼で大変なフィーバーぶり。

「全区民の結束が勝因」と伊藤富治団長も満面に笑み。



◇賞讃される準優勝

ここ数年農村部に押され、優勝から遠ざかっている中央市街部だけに、スタートから快調に首位の座を守り続けた上町が、果たしてそのまま逃げ込めるかが大いに注目された。

終盤に取りこぼしが相次ぎ、土壇場で大魚を逸した形となったが、他行事と重なり有力選手を欠きながらの準優勝は立派の一語。次回への大きなステップとなった。



◇立役者は誰だ

一時期低調気味だった町体も、近年はぐんと活気を呈してきた。当局的地道な努力の成果だろうが、最も大きな立役者は各チームの応援合戦ではないだろうか。衣裳をこらしての熱気あふれる応援ぶりが、大会ムードをいやが上にも盛り上げてくれる。今年も甲子園ばりのコンバットマーチも登場したが、来年は何が飛び出すか大いに楽しみだ。



◇地区のために全力

大会の華が部落対抗リレーならば、熱気ナンバーワンは力自慢の対決となる綱引きだ。

それだけにこの種目にかける各ブロックの意気込みはさまざま、エキサイトする場面もしばしば。郷土愛の心情がよく表れて人気が高い。今年は、連続水入りという歴史に残るような大勝負もあって、

選手も応援団もヘトヘト。しかし、心一つにしての全力勝負は、地区民の連帯の輪を一層大きくしてくれる。



◇フェアリーにこころ

いかにレクリエーションとはいえ、ルール違反はいただけない。お年寄りの競技に四五十歳代の人が出場したり、ごまかしプレーでちゃっかり入賞者の列に加わったり……。

判定の甘さにも批判もあるが、反省のないところに問題を感じる。まじめに競技する人のためにも、こんな恥かしいプレーは今年限りにしてほしい。



順位	ブロック
1	屋形(11ブロック)
2	上町(4ブロック)
3	北清水(9ブロック)